

# つづき 津付ダムだより

発行所

沿岸広域振興局土木部  
大船渡土木センター  
津付ダム建設事務所

お問い合わせ先

〒029-2311  
気仙郡住田町世田米  
字川向 102-1  
TEL 0192-22-8182  
FAX 0192-46-3715

津付ダム公式ホームページ  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp4580>

## 質問コーナー

(質問) 現在、津付ダムは、大股川に築造される計画となっていていますが、なぜですか？気仙川本川に築造したほうが効果があるのではないでしょうか？

(回答) 気仙川と大股川が合流する住田町世田米字川口地点(住田高校の付近)では、流域面積が約300km<sup>2</sup>、大股川が持つ流域面積が約100km<sup>2</sup>、気仙川が持つ流域面積が約200km<sup>2</sup>で、流域面積が大きい方にダムを建設したほうが有利ですが、気仙川本川は石灰岩が介在している地質であり、漏水等の技術的問題があることから、ダムを建設するのに適した地質ではありません。

また、ダム建設による社会的影響(家屋移転数等)や経費も含め、総合的に検討し、大股川に計画しています。

※流域面積とは？↓ある河川に対して、雨が集まる範囲を流域といい、その面積を流域面積といいます。集水面積という表現もあります。

## 平成22年度

### 事業概要

平成22年度の津付ダム建設事業費は約15億円です。昨年度から着手している付替国道1号橋梁下部工(橋脚工)工事を継続するほか、付替国道2号橋梁の上部工に着手する予定です。また、1号トンネルの工事は掘削が始まります。この他、工事用道路工事や継続的な水文調査等を実施します。



(1号工事用道路工事)



(付替国道1号橋下部工【P1】工事)

また、ダム事業の検証については、「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」が開催されており、今年の夏頃に中間とりまとめを行うこととなっている新基準について議論されています。新基準が示された段階で、適切に対応していきたいと考えています。

## 気仙川一斉清掃実施

陸前高田市と住田町の気仙川沿いで、4月25日(日)早朝、気仙川一斉清掃が多数の住民の方々により行われました。身近な自然空間である河川の豊かな自然環境を、今後もみんなで守り育てていきましょう。(当事務所職員も参加し、清掃活動の大切さを共感しました。)



(活動の様子－気仙川河口付近)

## 気仙川水系河川整備手法比較表の説明

津付ダム日より平成21年12月(第11号)に掲載した「気仙川水系河川整備手法比較表」の補足説明を行いたいと思います。この表は、平成21年度に行われた大規模事業評価専門委員会での審議に使用されたものです。

今回は事業効果発現の項目について、着目しました。

1/70(ダム+河川改修案→津付ダム建設と河川の改修を組み合わせで対策する案)をA案、1/70(河川改修単独案→河川の改修のみで対策する案)をB案として比較し、優位な案に○を付して表現しています。

		(ダム+河川改修案) A案		(河川改修単独案) B案	
事業効果発現	1/30	完了予定年度 H37 (16年後) B-C 6,546百万円 (B/C 1.44) (算定基準年はH20年度)	○	完了予定年度 H69 (48年後) B-C 5,807百万円 (B/C 2.31) (算定基準年はH20年度)	△
	1/70	完了予定年度 H116 (95年後) B-C 7,979百万円 (B/C 1.45) (算定基準年はH20年度)	○	完了予定年度 H161 (140年後) B-C 6,456百万円 (B/C 2.17) (算定基準年はH20年度)	△
	事業効果発現に関する評価	・ダムが完成すれば、ダム下流全川が水位低下し安全度が増すので、事業効果が全川にわたり発現。	○	・河川改修は、基本的には下流から改修を行います。完成した区間のみ安全度が増すので、事業効果の発現が限定的。	△

表中の1/70、1/30とは何を表しているのでしょうか？

1/70を例にします。「確率規模1/70」とは、70年に一度発生すると考えられる降雨に対応する治水の安全度を表しています。岩手県では流域面積の大きさや人口などをもとに1/50(宮古市の津軽石川)、1/100(大船渡市の盛川)など、それぞれの河川毎に治水安全度を設定しています。河川整備の基本となる「気仙川水系河川整備基本方針」では、概ね1/70の確率の降雨で発生する洪水流量を安全に流下できる計画として定めています。

1/70の治水安全度の場合、**A案は95年後完成⇔B案は140年後完成するものと試算し、A案が優位なことから○**、同様に1/30の治水安全度の場合、**A案は16年後完成⇔B案は48年後完成するものと試算し、A案が優位なことから○**としています。

表中のB、Cとは何のことなのでしょうか？

Bはベネフィット(便益)、Cはコスト(費用)で、どちらも単位は金額です。その差であるB-Cの値は(純現在価値)と呼ばれ、便益の大きさ(数字の大きい方が便益も大きい)を表します。比較案それぞれのB-C(純現在価値)は、1/70の**A案が7,979百万円⇔B案が6,456百万円**であることから、**A案が優位とし○**、同様に1/30の**A案が6,546百万円⇔B案が5,807百万円**であることから、**A案が優位とし○**としています。

公式ホームページ

津付ダムの公式ホームページは、下記のアドレスで、ご覧いただくことができます。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp4580>

河川等の急激な増水にご注意願います。

局地的かつ短時間に強い雨を降らせる「局地的大雨」が、近年多くなっています。河川や用水路等の急激な増水に注意しましょう。